

## 令和8年度入学試験問題

### 受験上の注意

1. 監督の指示により、解答用紙に受験番号（算用数字）、氏名、フリガナ、解答する科目を記入し、受験番号、該当する試験日、解答する科目をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
2. 問題冊子と解答用紙の解答番号を間違えないように注意してください。
3. 各科目のページは、次のとおりです。試験開始の合図があったら、まず受験する科目のページ数を確認してください。

科 目	ペ ー ジ
日 本 史	2～18
世 界 史	20～39
地 理	42～59
公 民	60～75

4. 試験時間中は、受験票を机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
5. 質問、その他用件があるときは、手を挙げて合図してください。
6. 試験時間中の退室は認めません。
7. 試験時間は60分です。
8. この問題冊子は持ち帰ってください。

**開始の合図があるまで開かないでください**

# 地理

〔 I 〕 次の図1と図2は国土地理院発行の2万5千分の1地形図「内野」(原寸、一部改変)である。両図はほぼ同じ範囲を収めているが、図1は2023年発行、図2は1973年発行である。両図を見て、問1～問6に答えなさい。解答番号は 1 ～ 10



図1

(国土地理院発行2万5千分の1地形図「内野」(2023年発行))

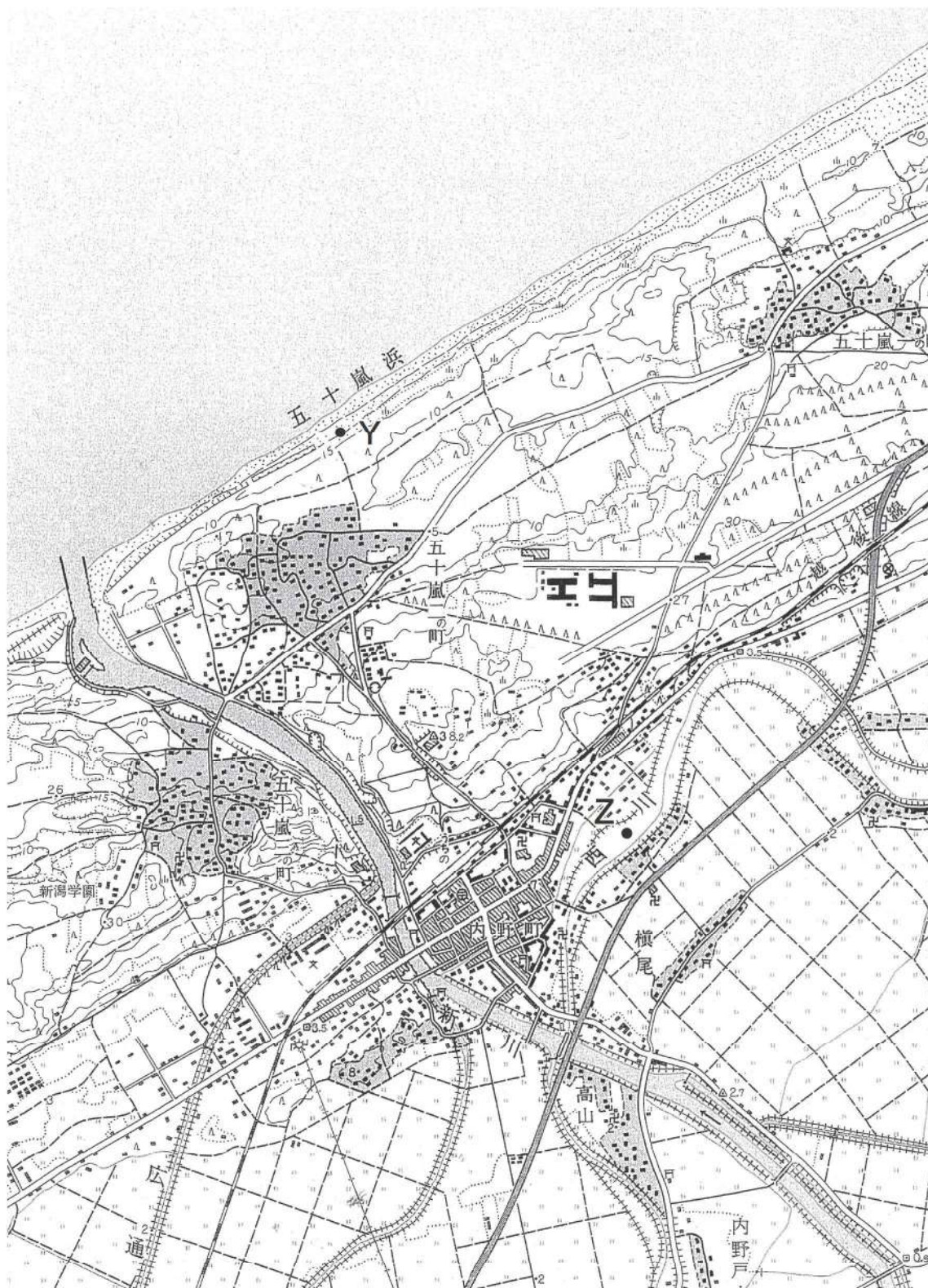


図2

(国土地理院発行2万5千分の1地形図「内野」(1973年発行))

問1 図1中の地点Xから地点Yまでを自転車で通過したとする。図上の両地点間の長さは9.0cmで、自転車は時速15kmで一定の速度で走るものとしたとき、次のAとBの間に答えなさい。

A. 地点Xから地点Yまでの実際の距離について、もっとも適切なものを①～⑤から1つ選び、マークしなさい。

- ① 1125m    ② 2250m    ③ 3375m    ④ 4500m    ⑤ 5675m

B. 地点Xから地点Yまでを自転車で通過するのに要した時間について、もっとも適切なものを①～⑤から1つ選び、マークしなさい。

- ① 6分    ② 9分    ③ 12分    ④ 15分    ⑤ 18分

問2 図1中の海上に表示される記号  について、次のAとBの間に答えなさい。

A. この記号は何を表す記号か。もっとも適切なものを①～⑤から1つ選び、マークしなさい。

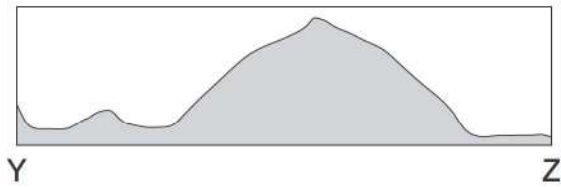
- ① 水制    ② 水門    ③ せき（堰）    ④ 送電線    ⑤ 輸送管

B. この構築物が果たす役割としてもっとも適切なものを①～④から1つ選び、マークしなさい。

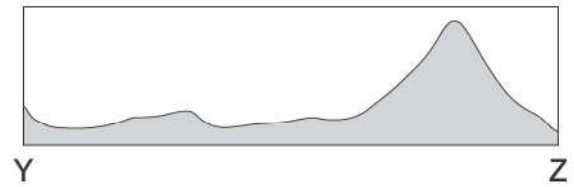
- ① 強い北西季節風から防砂林を保護するため。  
② 海底油田から採掘された原油を送油するため。  
③ 海上に風力発電施設を建設するため。  
④ 海岸（砂浜）の侵食を避けるため。

問3 図2中の地点Yから地点Zまでを簡略に描いた断面図としてもっとも適切なものを①～④から1つ選び、マークしなさい。ただし、高さは強調して表現している。

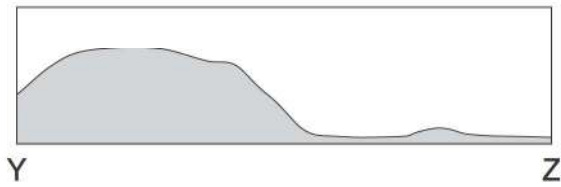
5



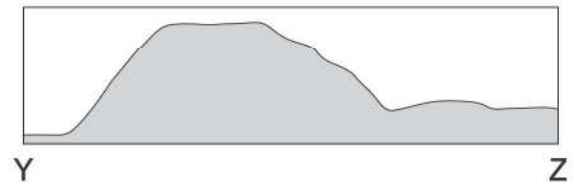
①



②



③



④

問4 写真1～写真3は、図1中の地点ア～地点ウのうちいずれかから西の方向を撮影したものである（2025年8月撮影）。撮影地点と写真の組み合わせとしてもっとも適切なものを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 6



写真1



写真2

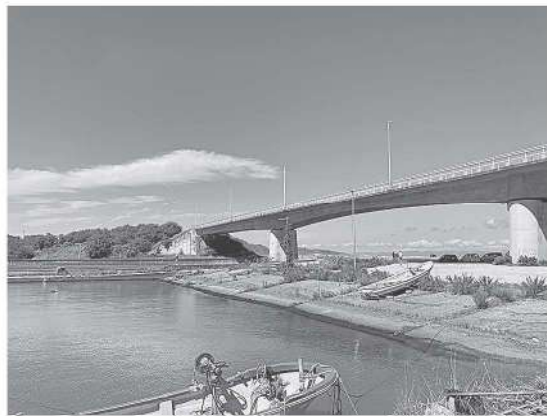


写真3

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	写真1	写真1	写真2	写真2	写真3	写真3
イ	写真2	写真3	写真1	写真3	写真1	写真2
ウ	写真3	写真2	写真3	写真1	写真2	写真1

問5 写真4～写真6は、国土地理院ホームページで閲覧した空中写真（2022年撮影、縮尺はそれぞれ異なる）であり、図1中のエ～キの4区画のうちいずれか3つに当てはまる。区画エ～区画キのうち写真4～写真6に当てはまらないものを①～④から1つ選び、マークしなさい。  7

- ① エ    ② オ    ③ カ    ④ キ



写真4



写真5



写真6

(国土地理院空中写真 2022年撮影)

問6 図1と図2を比較し、次のA～Cの間に答えなさい。

A. 図1中の地点a～地点cのうち、市街地となった時期の古いものから新しいものの順としてもっとも適切な組み合わせを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。

8

	古い	⇒	新しい
①	a	⇒	b ⇒ c
②	a	⇒	c ⇒ b
③	b	⇒	a ⇒ c
④	b	⇒	c ⇒ a
⑤	c	⇒	a ⇒ b
⑥	c	⇒	b ⇒ a

B. 鉄道より北側の地域の変化を述べた文として適切なものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 9

- ① 砂浜が侵食されたため海岸線は内陸側に大きく後退した。
- ② 海岸に沿う道路には多くのロードサイド・ショップが開業した。
- ③ 傾斜地を利用して多くの水田が造成された。
- ④ 傾斜地にも多くの住宅地が造成された。

C. 鉄道より南側の地域の変化を述べた文として適切なものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 10

- ① 蛇行していた「西川」は直線的な河道に改修された。
- ② 利用者の増大により越後線が複線化された。
- ③ 「西川」の南側では水田が住宅地に変わったところが多い。
- ④ 「槇尾」集落付近に小学校が新設された。

〔Ⅱ〕 図1を見て、以下の問1～問9に答えなさい。解答番号は  ～

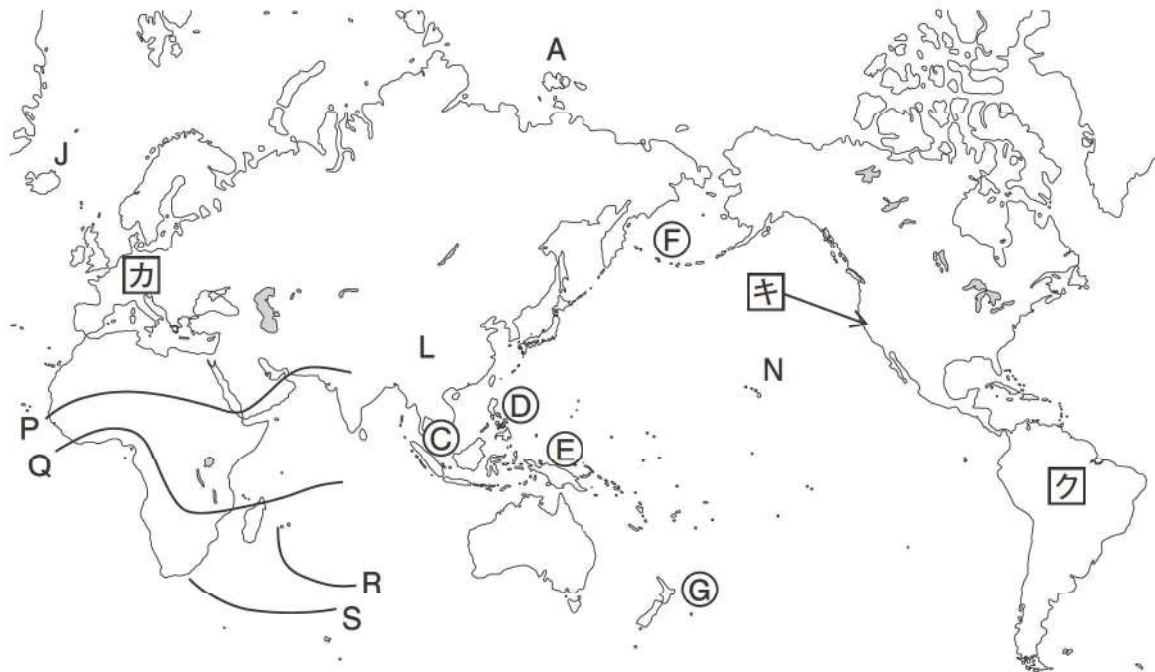


図1

問1 図1はメルカトル図法による世界地図である。下の文章を読み、A～Cの間に答えなさい。

メルカトル図法は  図法の一つであり、緯線と経線が直交する。ミラー図法に比べると、高緯度地域の経線が長く表現され、面積の歪みが大きくなる。一方で、 図法の特徴を活かし、海図などに利用されている。地図上の任意の2地点を結ぶ  コースはすべて直線で示される。

A. 文中の空欄アに入る語句として正しいものを①～④から1つ選び、マークしなさい。

- ① 円筒    ② 円錐    ③ 平面    ④ 便宜

B. 文中の空欄イとウに入る語句の組み合わせとして正しいものを①～⑧から1つ選び、マークしなさい。 **12**

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
イ	正積	正積	正距	正距	正角	正角	便宜	便宜
ウ	大圏	等角	大圏	等角	大圏	等角	大圏	等角

C. 図1中の東京から地点Aを見た時の方位として正しいものを①～⑧から1つ選び、マークしなさい。 **13**

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
北	北東	東	南東	南	南西	西	北西

問2 図1中のC～Gはアリューシャン列島、ニューギニア島、ニュージーランド北島、フィリピン諸島、マレー半島のいずれかの位置を示している。環太平洋造山帯に含まれないものを①～⑤から1つ選び、マークしなさい。 **14**

- ① アリューシャン列島      ② ニューギニア島      ③ ニュージーランド北島  
 ④ フィリピン諸島      ⑤ マレー半島

問3 図1中の地点Jにある島では、プレートテクトニクスに関連した自然環境や自然現象がみられる。この島に関する説明のうち誤っているものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 **15**

- ① この島には、多くの火山が分布しており、活発な噴火活動がみられる。  
 ② 海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込んでいる。  
 ③ 地熱資源が豊かに存在し、温泉施設や地熱発電所がある。  
 ④ マントルからマグマが上昇している。

問4 図1中のLは、大規模な地震を引き起こした巨大地震の発生域を示している。この地域における自然災害やその原因に関する文のうち誤っているものを①～⑤から1つ選び、マークしなさい。 **16**

- ① 大陸プレートと大陸プレートがプレート境界となっている。
- ② 地下の活断層がずれ動くことで、地震の揺れが発生した。
- ③ プレーートの沈み込み帯を形成している。
- ④ 南側のプレートはインド＝オーストラリアプレートである。
- ⑤ この地域は地殻変動が激しいアルプス＝ヒマラヤ造山帯に属する。

問5 図1中のNは、ハワイ諸島の位置を示している。これらの自然環境について述べた文のうち下線部が誤っているものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 **17**

- ① ハワイ諸島周辺では、北太平洋海流や北赤道海流が流れている。
- ② ハワイ諸島では、大陸にある大都市から遠く離れた場所に位置するため、大気汚染の影響が少なく、国際的な天体観測網が構築されている。
- ③ ハワイ諸島では、年間を通しておよそ東から西に向かって貿易風が吹いている。
- ④ ハワイ諸島は、主として黒色の粘性の高い溶岩により形成された。

問6 図1に示す線P～Sは、1月か7月の熱帯収束帯、1月か7月の寒帯前線帯のいずれかを示す。7月の熱帯収束帯に該当するものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 **18**

- ① P      ② Q      ③ R      ④ S

問7 図1に示す地点カ～クにおける各地域の代表的な植生景観の特徴をe～gに示す。地点カ～クの説明としてもっとも適切な組み合わせを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 **19**

- e 一年中月平均気温が高く草原や疎林が分布するが、乾季には草原は枯れる
- f 一年を通じて温和な気候であり、ブナなどの落葉広葉樹が分布している
- g 夏季の乾燥に対応した葉の硬いオレンジなどの樹木が生育する

	カ	キ	ク
①	e	f	g
②	e	g	f
③	f	e	g
④	f	g	e
⑤	g	e	f
⑥	g	f	e

問8 以下の説明文サとシは、ラトソルカレグールのいずれかの特徴を示したものである。ラトソルの説明および土壌区分名称の正しい組み合わせを①～④から1つ選び、マークしなさい。 **20**

- サ 熱帯の高温多湿地域では、高温で有機物の分解が速く進み、かつ大量の雨で腐植物が流されるためにやせた土壌が形成される。酸化鉄が濃集して赤褐色の土壌となる。
- シ 黒色の玄武岩質の溶岩台地が風化されて形成された黒色の土壌で、保水力が高く綿花の栽培に適している。

	①	②	③	④
説明文	サ	サ	シ	シ
土壌区分	成帯土壌	間帯土壌	成帯土壌	間帯土壌

問9 気候変動に対する取組みや持続可能な開発目標（SDGs）に関する以下の文章を読み、AとBの間に答えなさい。

1980年代ごろから、地球全体の気温が上昇しているのではないかと研究者の間で論じられ始め、1992年には「**タ**」が制定された。1997年には「**チ**」が採択され、温室効果ガスの削減目標が定められた。2002年には持続可能な開発に関する世界首脳会議（地球環境サミット）が開催された。

2015年に国連で開催された「持続可能な開発サミット」では「**ツ**」が結ばれ、持続可能な開発目標（SDGs）が定められた。現在の世界の平均気温は、およそ「**ナ**」度であるが、2020年以降、産業革命前の気温に比較して世界平均気温上昇を「**ニ**」度以内に抑えることを目標とした。

A. 文中の空欄**タ**～**ツ**に入る語句の組み合わせとして正しいものを、①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 **21**

	タ	チ	ツ
①	気候変動枠組条約	京都議定書	パリ協定
②	気候変動枠組条約	パリ協定	京都議定書
③	京都議定書	気候変動枠組条約	パリ協定
④	京都議定書	パリ協定	気候変動枠組条約
⑤	パリ協定	気候変動枠組条約	京都議定書
⑥	パリ協定	京都議定書	気候変動枠組条約

B. 文中の空欄**ナ**と**ニ**に入るもっとも適切な数値を、①～⑩からそれぞれ1つずつ選び、マークしなさい。 **ナ** **22**      **ニ** **23**

- ① 0.5      ② 2.0      ③ 4.0      ④ 6.0      ⑤ 8.0  
 ⑥ 10.0      ⑦ 15.0      ⑧ 20.0      ⑨ 25.0      ⑩ 30.0

〔Ⅲ〕 東南アジアに関する以下の問1～問11に答えなさい。解答番号は **24** ～

**34**



図1

([https://www.d-maps.com/carte.php?num\\_car=5162&lang=ja](https://www.d-maps.com/carte.php?num_car=5162&lang=ja))

問1 図1にある緯線Xと経線Yが交わる地点の位置として、もっとも適切なものを

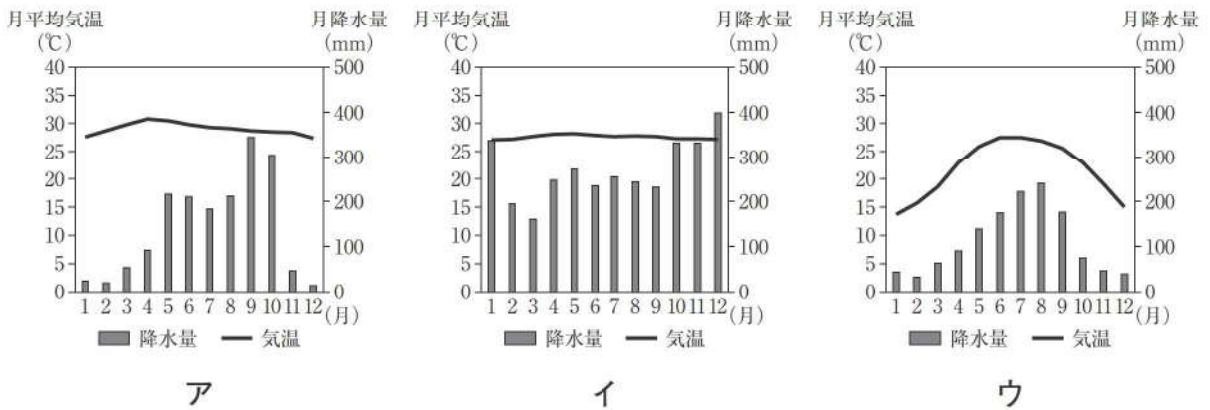
①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 **24**

①	北緯20度 東経120度
②	北緯20度 東経100度
③	北緯20度 東経80度
④	緯度0度 東経120度
⑤	緯度0度 東経100度
⑥	緯度0度 東経80度

問2 東南アジアの自然環境の特徴について述べた文で、下線部が正しいものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 **25**

- ① スマトラ島沖では、隣り合うプレートが互いに遠ざかる（広がる）ように動いている。
- ② 浅瀬の海岸沿いに、タイガと呼ばれる森林が広がっている。
- ③ 下草が密集し、見通しがきかないセルバと呼ばれる熱帯雨林が広がっている。
- ④ 午後に積乱雲の発達によって、激しい雨と風といったスコールに見舞われることがある。

問3 雨温図ア～ウは、図1のランソン（ベトナム）、バンコク（タイ）、バンドルスリブガワン（ブルネイ）のいずれかを示したものである。各地点と雨温図のもっとも適切な組み合わせを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 **26**



(「気象庁ホームページ」により作成)

	①	②	③	④	⑤	⑥
ランソン	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
バンコク	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
バンドルスリブガワン	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問4 図1の地域S～Uで広く栽培されている農作物について、もっとも適切な組み合わせを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 **27**

	①	②	③	④	⑤	⑥
S	コーヒー豆	コーヒー豆	米	米	油やし	油やし
T	米	油やし	コーヒー豆	油やし	コーヒー豆	米
U	油やし	米	油やし	コーヒー豆	米	コーヒー豆

問5 表1のカ～クは、カンボジア（2008年）、フィリピン（2000年）、マレーシア（2000年）の宗教別人口割合のいずれかを示したものである。宗教別人口割合と国名について、もっとも適切な組み合わせを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。

**28**

表1 宗教別人口割合（％）

カ		キ		ク	
キリスト教	92.7	イスラーム	60.4	仏教	96.9
イスラーム	5.0	仏教	19.2	イスラーム	1.9
		キリスト教	9.1	キリスト教	0.4

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版』により作成）

	カ	キ	ク
①	カンボジア	フィリピン	マレーシア
②	カンボジア	マレーシア	フィリピン
③	フィリピン	カンボジア	マレーシア
④	フィリピン	マレーシア	カンボジア
⑤	マレーシア	カンボジア	フィリピン
⑥	マレーシア	フィリピン	カンボジア

問6 東南アジアの生活や文化に関するサ～スの文について、下線部の正誤として、もっとも適切な組み合わせを①～⑧から1つ選び、マークしなさい。 **29**

サ 伝統的な衣服の材質の多くは、毛織物が使われている。

シ 高温多湿な地域では、住居は高床にしている。

ス ベトナムでは、歴史的背景から、現在でも街角でフランス由来のパンが売られている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
サ	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
シ	正	正	誤	誤	誤	誤	正	正
ス	正	誤	正	誤	誤	正	誤	正

問7 東南アジアの民族や言語に関するタ～ツの文について、下線部の正誤として、もっとも適切な組み合わせを①～⑧から1つ選び、マークしなさい。 **30**

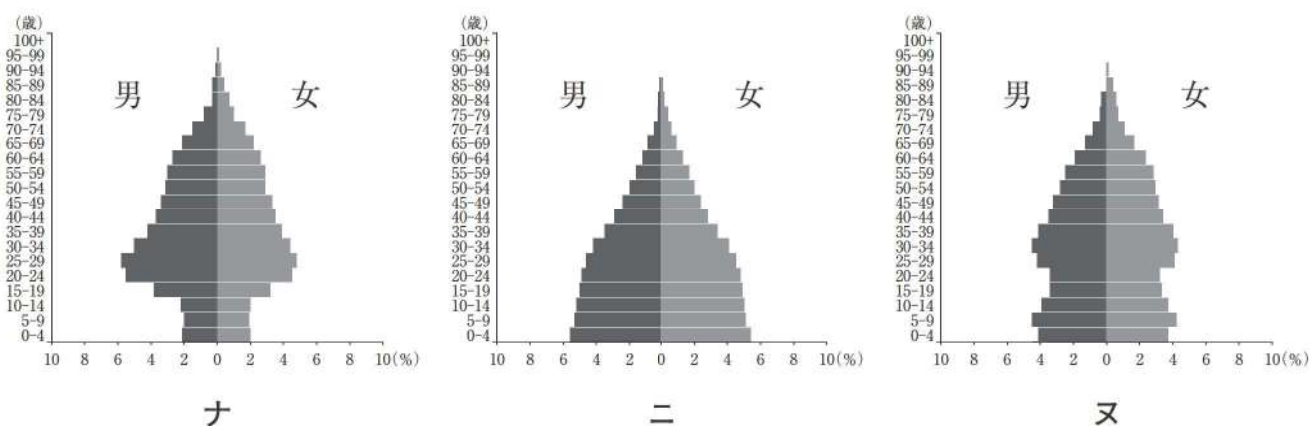
タ 中国以外の国で生まれ、その国の国籍を取得した中国系の人びとを華人という。

チ マレーシアでは、国内の中国系住民との雇用や教育の面での格差を是正<sup>ぜせい</sup>するため、マレー系住民を優遇する政策を行っている。

ツ シンガポールの学校教育や行政、ビジネスの場では、英語が共通語として用いられている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
タ	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
チ	正	正	誤	誤	誤	誤	正	正
ツ	正	誤	正	誤	誤	正	誤	正

問8 図2の人口ピラミッドナ～又は、2020年のシンガポール、ベトナム、ラオスのいずれかを示したものである。人口ピラミッドと国名について、もっとも適切な組み合わせを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 **31**



(国連「World Population Prospects」データに基づく)

図2

	ナ	ニ	ヌ
①	シンガポール	ベトナム	ラオス
②	シンガポール	ラオス	ベトナム
③	ベトナム	シンガポール	ラオス
④	ベトナム	ラオス	シンガポール
⑤	ラオス	シンガポール	ベトナム
⑥	ラオス	ベトナム	シンガポール

問9 20世紀後半以降に、バンコク（タイ）などでは、産業や経済の機能が集中し、大都市圏人口が爆発的に増加した。このような国内のほかの都市の規模を大きく上回っている都市を表す語句について、正しいものを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。

**32**

- ① インナーシティ      ② コナーベーション      ③ コンパクトシティ  
 ④ プライメートシティ      ⑤ メガロポリス      ⑥ メトロポリス

問10 東南アジアの工業・貿易に関するハ～フの文について、下線部の正誤として、もっとも適切な組み合わせを①～⑧から1つ選び、マークしなさい。 **33**

ハ ASEAN諸国では、輸出指向型の工業化を進めることで、急速に経済発展した。

ヒ ベトナムでは、ドイモイと呼ばれる計画経済政策によって工業化が進んだ。

フ 2015年のASEAN経済共同体の創設によって、ASEAN域内の関税が撤廃された。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
ハ	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
ヒ	正	正	誤	誤	誤	誤	正	正
フ	正	誤	正	誤	誤	正	誤	正

問11 表2の①～④は、2022年のカンボジア、タイ、ベトナム、2023年のマレーシアのいずれかの輸出額上位5位までの品目と全体に占める割合を示したものである。タイにあてはまるものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 **34**

表2

(%)

順位	①		②		③		④	
1位	機械類	31.5	機械類	45.7	機械類	44.3	衣類	44.3
2位	自動車	11.0	衣類	9.5	石油製品	9.4	機械類	10.7
3位	プラスチック	3.7	はき物	6.6	液化天然ガス	4.2	バッグ類	8.8
4位	野菜と果実	3.4	家具	3.5	精密機械	3.9	履物	8.4
5位	石油製品	3.1	繊維と織物	3.0	パーム油	3.8	自動車	5.0

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版』により作成)